九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

昭和30年代・濃尾平野と周辺の中世城館

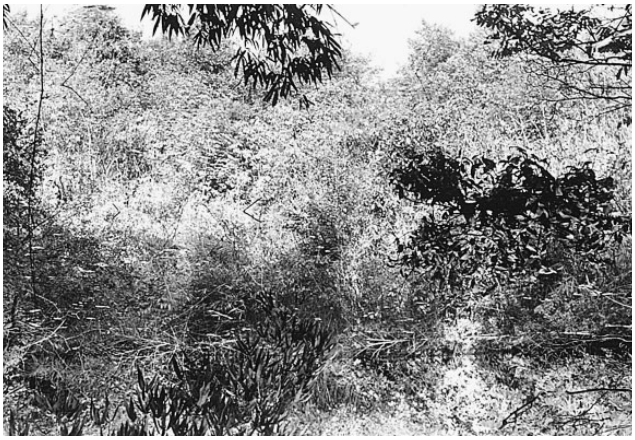
服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授 : 日本史

https://doi.org/10.15017/17119

出版情報：比較社会文化. 16, pp.121-264, 2010-03-20. Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

写真番号（30）品野城〔桑下城〕址（東春日井郡品野町上品野）



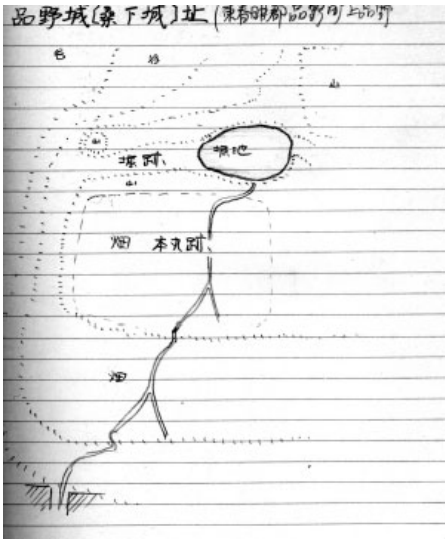
堀

土塁

東春日井郡誌：品野村大字上品野に二カ所あり…
亦一ヵ所は村の西北に当たる丘山の上、本丸の跡歴然と残る。
土塁、隍等の今尚明らかなるものあり。
古城志に永井民部（松平内膳正臣也）城跡東西30間南北42間
一重堀…。

本丸より秋葉山

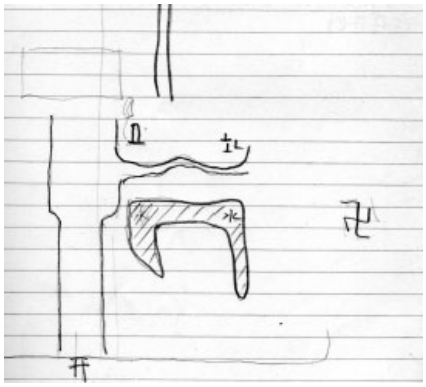
堀



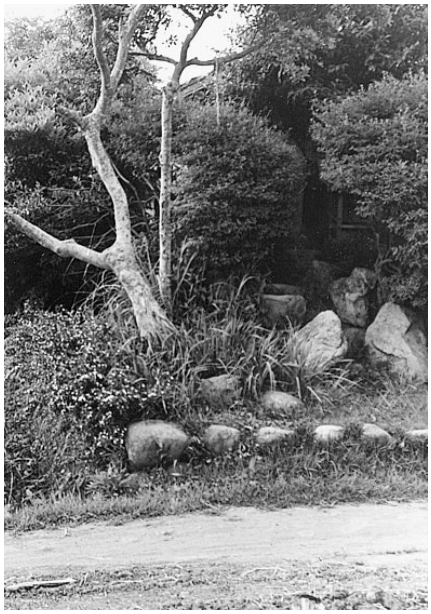
写真番号（31）南外山城址（小牧市南外山字東浦４４７、北浦４４１）

濠跡

全景



写真番号（32）二重堀砦址（小牧市味岡大字二重堀５４５）



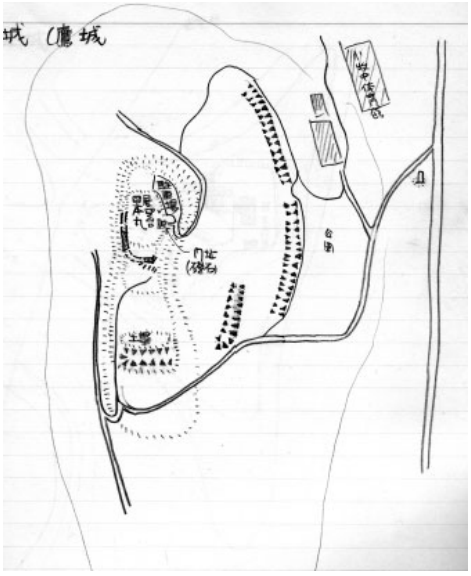
右奥に碑

写真番号（33）小牧山城址（小牧市小牧）

このあと模擬天守閣が建てられた。
天守があったという文献はない。

本丸門址礎石

本丸西石塁

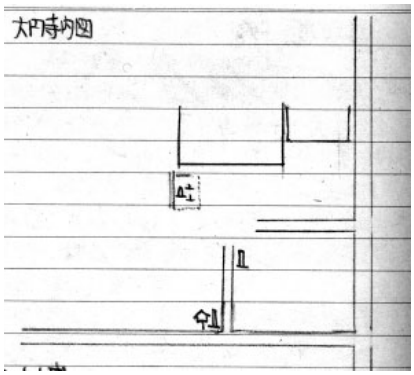


写真番号（34）日比津乾屋敷城址（名古屋市中村区日比津町字三ノ郷旧字城屋敷）

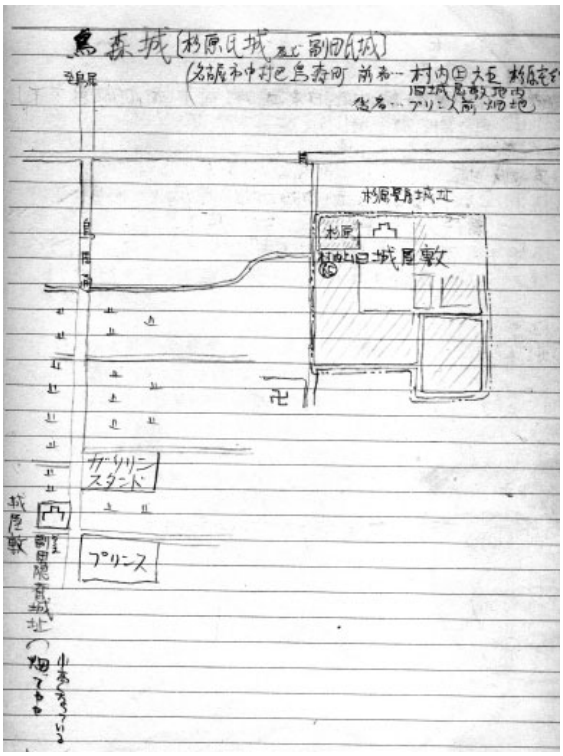
愛知郡誌：日比津乾屋敷城址
日比津村字三ノ郷旧字城屋敷乾屋敷ト稱スル地ノ
南ニ在リ東西三十二間南北三十間…
日比津栗山城址
字四ノ郷旧字東山ニ在リ東西三拾間南北拾九間…

貞治四年三月十八日（乾屋敷城主野尻掃部墓という）

一居放心為道誓禅門一周忌故也
應永拾七年二月拾参日（掃部家老：野尻藤松―栗山城主―家のものか）

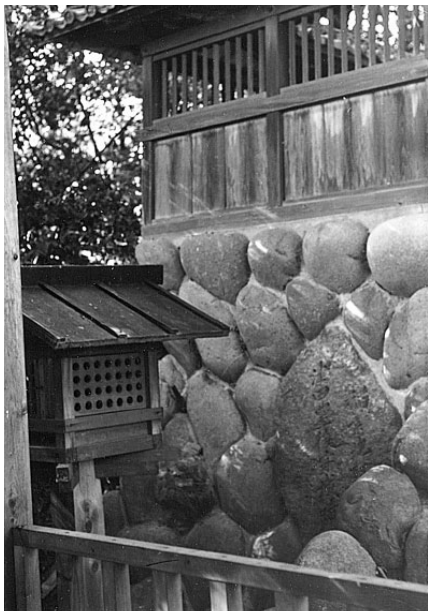


写真番号（35）烏森城址（名古屋市中村区烏森字村内城屋敷）



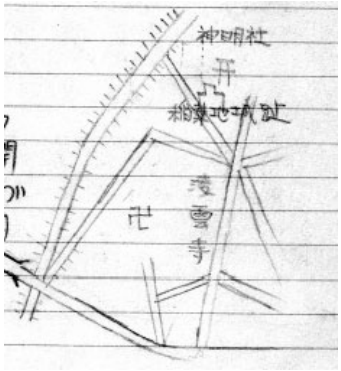
写真番号（36）稲葉地城址（中村区城屋敷町４の１０）

「四方空濠ノ址　水田トナリテ存セリ」



郡誌　又古城石　壹個ヲ存シ村社ノ
石垣ニ用フ　刻シテ曰ク稲葉
地村古城之石ト

「津田豊後…」の文字がある



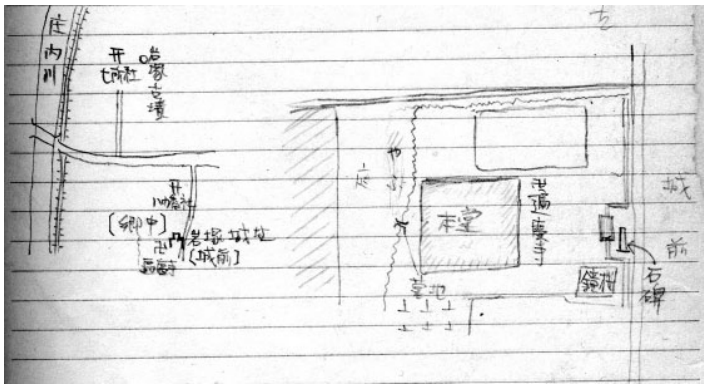
凌雲寺内墓碑
右　天文五年、津田豊後守

写真番号（37）岩塚城址（中村区岩塚町郷中 62　遍慶寺　城前一帯）

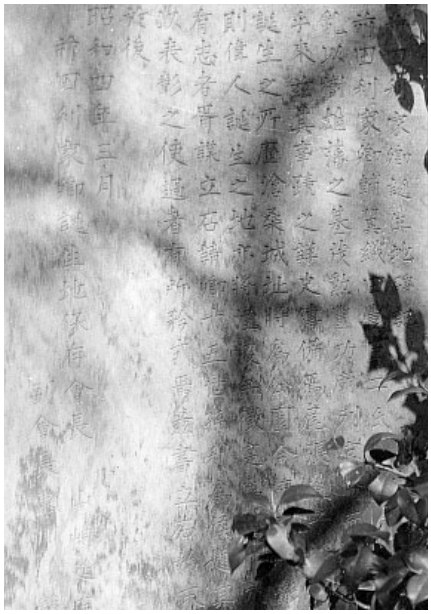
斯波一族

吉田重氏------元氏 ――――――――――九郎左衛門

治郎左衛門　　信長に仕ふ　　信雄に仕ふ
永禄十一年　伊勢にて戦死　　天正十九年旧領岩塚を
⇒廃城か。　　領す　七所社西北に托す



写真番号（38）荒子城址　中川区荒子町大和の他（旧字古城）



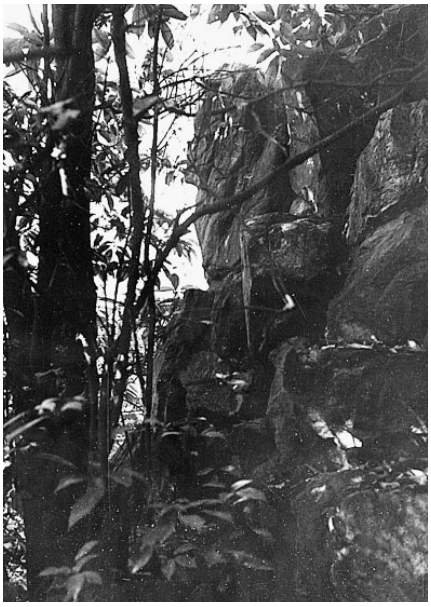
写真番号（39）那古野城址　中区南外堀町（名古屋城内二の丸）

写真番号（40）末森城〔末盛城〕址（名古屋市千種区田代町城山）

現在は左手に愛知学院大ビルが建つ　　b）

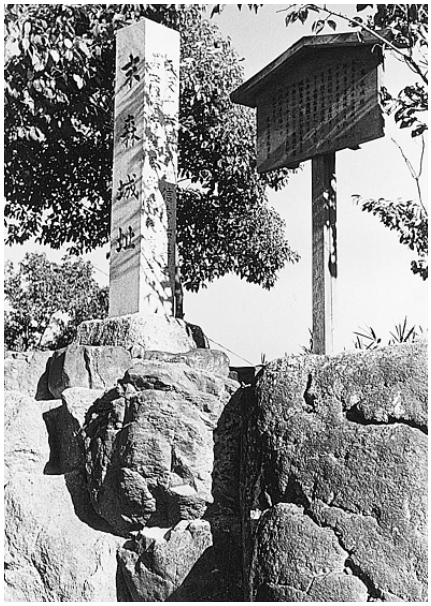
a）

1）



盛土のための新しい石垣　　2）

3）

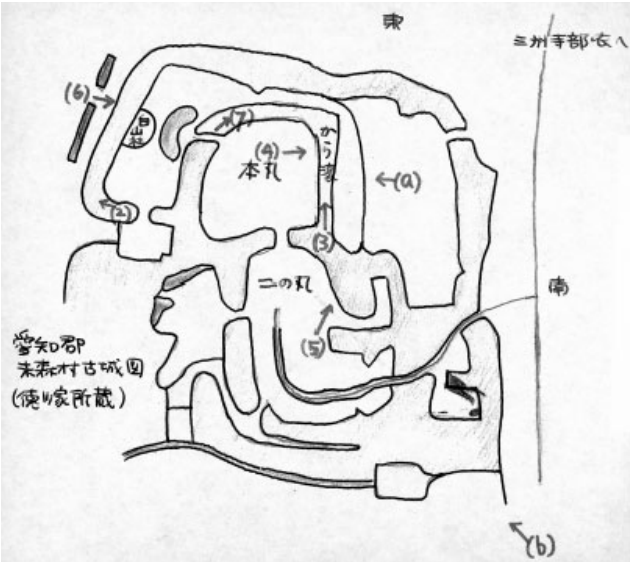


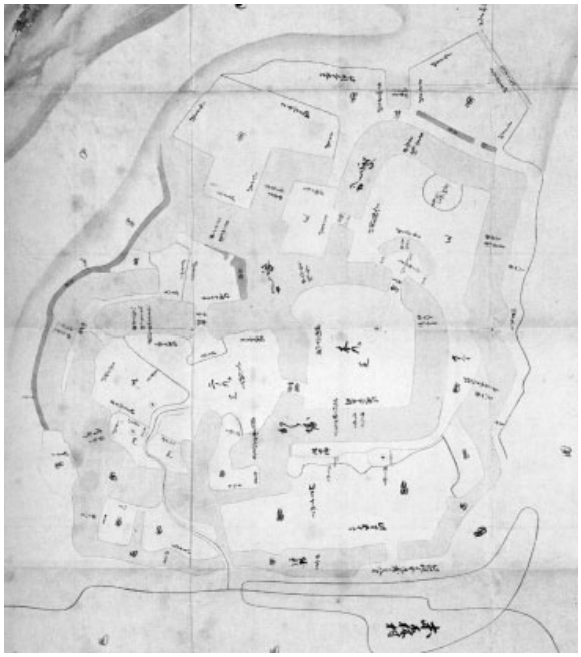
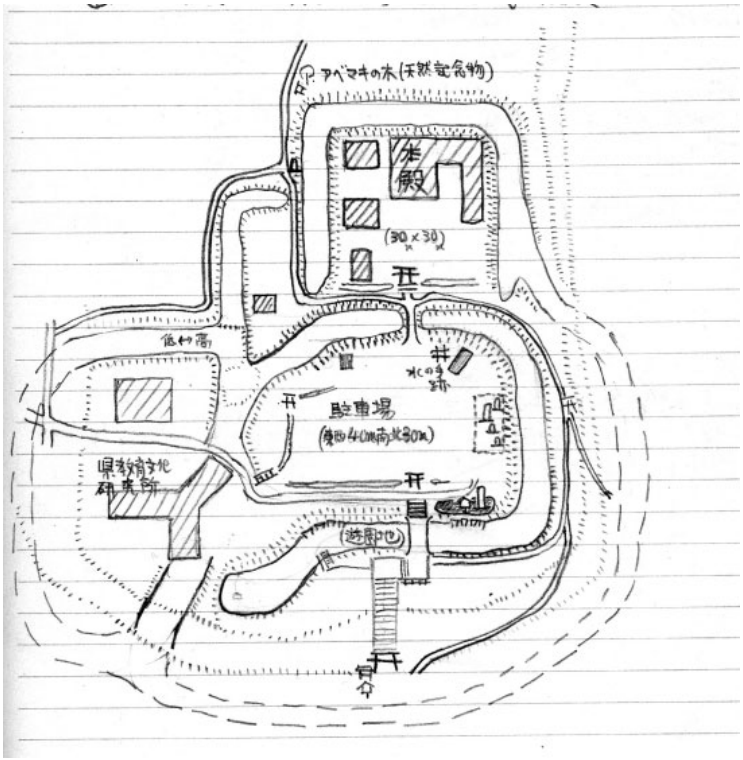
4）

市街地をのぞむ　　5）

6）

深いホリ　　7）





府志〔末森城〕
在末森村　天文年中織田備後守
信秀姓築之、其子勘十郎信行
継居此城　信行爲其兄信長
見殺　後廃失　遺址東西百間
南北八十間